

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

ダンウェイジュニアでは、提供するサービスの質の向上への取組について、事業所にて点検・評価を実施しています。

さらに、保護者の方にも点検・評価へご協力をいただいております。

今後、お子様の強みを活かし、自立の可能性を切り開くための支援ができるよう、さらなる質の向上に努めてまいります。

自己評価結果は、皆様に安心してご利用していただけることにつながることを目指し、公表しています。

尚、評価基準は、厚生労働省が定める「放課後等デイサービスガイドライン」を参考に、基準を設けています。

		チェック項目	取り組み状況
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	法令を遵守し、木育スペースを設け、お子さまが快適に過ごす空間を確保しています
	②	職員の配置数は適切であるか	法令を遵守し、必要とされる配置数に加え、保育士、児童指導員2名加配しています。
業務改善	③	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職人が参画しているか	PDCAをまわし、業務改善を行う仕組みを取り入れています。日次、週次でミーティングを実施しています。
	④	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	保護者の方へ、満足度調査アンケートを実施にご協力いただき、業務改善につなげています。
	⑤	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	当社ホームページにて、公開しています。
	⑥	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	現在は、利用者・事業所内での評価を行っております。第三者による外部評価に関し、現在行っておりませんが、専門家である、NPO法人ステップ子ども発達相談室(http://www.step-kodomo.com/)の臨床心理士の先生に定期的に巡回にきていただき、助言をいただき、質の向上に努めています。
	⑦	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	職員の質の向上を目指し、定期的に研修を実施しています。また、専門家である、NPO法人ステップ子ども発達相談室(http://www.step-kodomo.com/)の臨床心理士の先生に定期的に巡回にきていただき、助言をいただいております。また、外部から講師を招き、職員の知識の向上と質の向上に努めています。
	⑧	事業所内でスーパーバイザー等を受ける体制を整えているか	
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	計画期間毎に、アセスメントをし、放課後等デイサービスの個別支援計画を作成しています。
	⑩	活動プログラムの立案をチームで行っているか	チームで、日次、週次でミーティングを実施し、お子様の事例を共有・検討する、ケース検討会を実施しています。また、お子様にあったプログラム提供に努めています。
	⑪	活動プログラムが固定化しないう工夫しているか	
	⑫	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	平日、休日、長期休暇に応じて、課題設定をしたり、プログラムを変更したりしています。
	⑬	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	定期的なアセスメントをもとに、長期目標と短期目標を設定し、優先順位をつけて、放課後等デイサービス個別支援計画を作成しています。
	⑭	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	日次、週次でミーティングを実施し、職員間で情報共有を実施しています。
	⑮	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	
	⑯	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	毎回、指導記録をとり、職員間で共有し、検証・改善に努めています。
	⑰	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	定期的なモニタリングをもとに、必要に応じて、放課後等デイサービス個別支援計画の見直しを行っています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑱	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	同会議時に、子どもの状況に精通した最もふさわしい者(管理者及び児童発達支援管理責任者等)が参画しています。
	⑲	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	保護者の方、学校の先生、障害児相談支援事業所等と連携し、連絡調整を行なうよう努めています。
	⑳	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	保護者の方や本人の同意を経て、これまでの支援内容や評価等の情報を、障害福祉サービス事業所等へ提供しています。
	㉑	専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	NPO法人ステップ子ども発達相談室(http://www.step-kodomo.com/)の臨床心理士の先生や、療育センター等の助言・研修を受けています。
	㉒	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	地域の子ども文化センターや公共交通機関を使用して、様々な場所へ外出等へ行き、障害のない子どもたちと活動する機会があります。
	㉓	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	協議会の時間が、支援時間と重複しないなど、にできる限り参加しています。
	㉔	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達や状況や課題について共通理解を持っているか	毎回、支援時間終了後、日報等でお子様の状況を保護者の方へ伝えています。定期的に面談を実施しています。
	㉕	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	契約時に、詳細のご説明をしています。具体的な支援内容に関し、利用前面談を経て、支援方針をきめ、放課後等デイサービス個別支援計画を提示時に説明しています。
保護者への説明責任等	⑳	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	保護者の方からの悩み等に関する相談があった場合、面談や電話等で支援・助言を行っています。
	㉑	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	個別支援計画策定時に保護者に来社もしくはZoomにて説明をして支援方法等確認し、連携を図っている。
	㉒	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情をいただいた場合、事業所内・本部で共有し、迅速かつ適切に対応し、記録(ヒアシート)を残しています。
	㉓	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	当社ホームページ、書面等で案内を行っています。
	㉔	個人情報に十分注意しているか	個人情報保護法に基づき、取扱いに十分注意しています。
	㉕	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	お子様や保護者の方の状況に応じて、ICTや視覚的支援などを活用し、意志疎通・情報伝達等を実施しています。合理的配慮の勉強会も実施しています。
	㉖	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	「地域共生」をビジョンにかけ、事業所を商店街の中に立地して、地域の方々との積極的な交流が行えるような工夫(買物練習、清掃ボランティア、公共交通機関乗降練習、地域のお祭りの準備、店員体験実施等)を行っています。
	㉗	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員に周知しているか	マニュアルを策定し、研修を実施しています。
非常時等の対応	㉘	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	年2回避難訓練等を実施しています。
	㉙	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	虐待防止研修については、毎月第一金曜日に教育訓練を実施し、その時参加できない方については録画をとり視聴してもらっている。その時は職員同士が意見を言いあえる環境づくりに努めています。保護者の方へは、契約時に丁寧に説明し、放課後等デイサービスの契約書や重要事項説明書等にも明記しています。その上で、放課後等デイサービス個別支援計画を作成しています。
	㉚	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	
	㉛	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	全てのお子様について、アレルギーの有無を確認し、支援時に該当物質との接触がおこならないよう留意しています。
	㉜	ヒヤリハット事例について、情報を共有し、改善策を検討しているか?	ヒヤリハット事例が起こった際は、職員間で情報共有を実施し、改善策を検討して、記録に残しています。